



たもんのこ



令和7年5月26日
認定こども園
世田谷区立多聞幼稚園
園長 山路 智之

たもん水族館”に来ませんか？

園長 山路 智之

「金魚さん、もしもし」「ごはん食べますか？」給食後、3歳児のクラス前から声が聞こえてきました。様子を見に行ってみると、聴診器に見立てたブロックを水槽に当てながら金魚と会話を楽しんでいます。その様子は、本当に金魚と会話ができる子なのかと思ってしまうほどの雰囲気です。

別の日、並んで置いてある水槽を見ながら「グッピー、もっと広いところで泳ぎたいって言うよ」「大きい（水槽）のにしてほしいなあ」と4歳児の子が伝えにきました。

数日後、地域でお世話になっている、アクアリウムショップ アースの方が大きな水槽を運んでくれました。水槽の中に砂利を敷き詰め、見たことのない大きな流木に数種類の水草を埋め込み、水を入れて環境を作っていきます。その様子を見ながら、子どもたちは興味津々！まさに職人技です。水槽の中の状態が落ち着くまで、数日、魚のいない状態が続きました。

水槽の中の状態が落ち着くと、グッピーの引っ越しです。広々とした水槽の中を泳ぐ姿を見ながら、「うわあ！」という歓声があがりました。図鑑を見ながら、「次はお魚がくるのかなあ」と友達同士で想像しながら楽しみにする様子が見られました。子どもも大人も癒しの空間になっています。

生物観察は、幼児が自然に親しむことができるだけでなく、科学的な観察力や感性を育みます。園内外の自然に触れる環境の整備は、幼児教育の大切なテーマの一つです。園庭では、ダンゴムシやアリ、アゲハチョウなどの生き物や夏野菜の栽培、季節を感じることでできる植物に興味関心をもって関わりを楽しんでいます。さらに、自然環境を活かした学びの場を充実させていきたいと考えます。

本園は、子どもたちが夢中になれる遊びとの出会いを大切とした教育・保育を進めています。今年度、園内研究のテーマを「なんでだろう！どうして？ふしぎだね！」とし、子どもたちの日常の遊びや生活を通して心揺さぶられる体験が増えていけるように研究を進めていきます。



今月、各学年で、大切にしたいこと

＜年少＞○園生活に必要なこと（身支度、着替え、片付けなど）が分かり、教師と一緒にしようとする。

○教師と一緒に水遊びや砂遊びをして、水や泥の感触を楽しんだり身近な自然に触れたりできるようにする。

＜年中＞○同じ場にいる友達の雰囲気を感じ、一緒に遊ぶことを楽しめるようにする。

○学級のみんなどと一緒に活動する楽しさを感じられるようにする。

＜年長＞○自分の考えや思いを伝え合いながら、友達と遊びを進めていく楽しさを感じられるようにする。

○夏野菜や草花の栽培を通して生長に関心を持ち、観察しながら世話をするを楽しめるようにする。